

校長室から

(R7.5月)

～おもいをのせて～

文責：菅 昌徳



歓迎遠足



4月25日（金）に本校、28日（月）に分教室でそれぞれの歓迎遠足がありました。分教室の遠足は残念ながら雨で本校体育館での活動になりました。両校とも日々の学習とは違う特別な活動に学年、学部の枠を飛び出して心ワクワクさせながらチームでの競技に参加したり声を掛け合ってキャッチボールやサッカー、バドミントンなどをしたりと笑顔が絶えない時間を子供同士はもちろん、教師とも過ごし、心の触れ合いができたとても楽しい歓迎遠足になりました。子供と大人、教師と児童生徒という枠組みは大切にしながらも、同じ活動の中で共感し、楽しむ様子に子どもたちの豊かな人間性の育ちを感じ「いいね。みんなの笑顔最高！！」と私も自然と笑顔になり、子どもたちの活動の中に入り、一緒に楽しみました。



皆さんの笑顔は校長先生の元気エナジーです。 これからもよろしく！

小学部スケッチ大会



5月22日（木）、前日までの雨模様から一転、爽やかな青空のもとスケッチ大会を開催することができました。それぞれが教室や廊下、中庭などを回り、描きたい対象を見つけて写真を撮ったり、その場に座って描き始めたりしていました。自分の興味があるものやスケッチをしたい場所を見つけると画用紙いっぱい夢中で描いている子どもたちの姿にそれぞれのやる気や思いを感じ、心が温くなりました。子供たちの絵をのぞきながら「みんなそれでいいよ、自分の思いを存分に表現しようね」と胸の中で小さくつぶやいていました。存分に表現することは思いを伝えるためのはじめの一歩だと確信しました。

スケッチ大会作品展あるのかな？ 仕上がりがとても楽しみです。



学年を超えたみんなでの活動（小学部）

小学部で「たぶん… むかしあそび クラブ」として中休みにそれぞれが興味のある遊びを選び、集まった仲間たちと楽しむ活動の時間が始まりました。コマやけん玉、ぶんぶんゴマで遊んでいました。「どうやったらうまく回せるかな」「どうやったらうまく球をのせられるかな」などと友達同士や先生たちと話し合っている姿は本校の「共に学び、共に助け合う」そのものでした。ああでもない、こうでもないという試行錯誤する姿、できるかな、やってみようという挑戦する姿に学びを深めようとする子どもたちの意欲を感じました。

あらためて体験的で活動的な学習の大切さや必要性を考えさせられました。

これからもみんなで楽しく遊んでいきましょう！！

P.S 校長先生も参加させてくださいね（笑）

